

K22037

K2343

廃棄物中PFCsの実態解明と流出挙動および対策技術に関する研究

研究目的 I -IVを達成するために各研究機関が10のサブテーマを分担する

I. 製品・廃製品のPFCs含有実態
や焼却過程でのPFCs挙動解明

II. 廃棄物のPFCsプロファイルおよびその
他POPsのデータベース構築と起源解明

国立環境研究所

- ①『製品・廃製品中のPFCsの含有及び使用時挙動に関する評価検討』
- ②『焼却過程におけるPFCs含有廃棄物の分解挙動に関する評価』

大阪市立環境科学研究所

- ③『廃棄物中PFCs組成プロファイルおよび分析法に関するデータベースの構築』

大阪府環境農林水産総合研究所

- ④『廃棄物試料中のPOPs等の分析法開発及び実態調査』

廃棄物中のPFC起源解明
最終処分場に持ち込まれるPFCs
形態解明

III. 最終処分場におけるPFCs汚染実態、
挙動、およびトータルマスバランスの解明

最終処分場における
PFCs汚染実態の解明と対策

IV. 現場に即した排出
抑制技術の開発

兵庫県環境研究センター

- ⑤『最終処分場内の有機フッ素化合物の挙動解明』
- ⑥『PFCsが吸着された活性炭再生処理工程におけるPFCs挙動及びマスバランスの解明』

神戸市環境保健研究所

- ⑨『排出実態に即したPFCs活性炭処理の効率化の検討』

千葉県環境研究センター

- ⑦『一般廃棄物処分場におけるPFCsの実態調査』

京都大学

- ⑩『廃棄物埋立処分場におけるオンサイト型PFCsの除去・処理技術の開発 - 省資源、省エネルギー、省メンテナンスを考慮した実現可能な処理技術の選定と評価-』

愛媛大学、大阪市立環境科学研究所

- ⑧『アジア途上国の廃棄物処理現場等におけるPFCs汚染の実態調査』

関連各機関と廃棄物中のPFCs対策の具体的な施策を検討